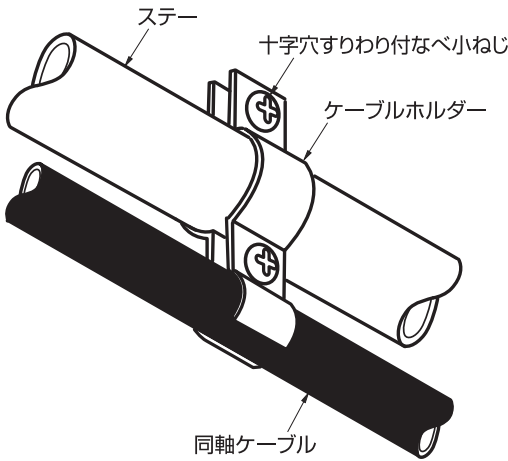
⑥ケーブルホルダーの使用方法

ケーブルホルダーの十字穴すりわり付なべ小ねじ2本をゆるめ、図のように同軸ケーブルを挟み、しっかり締付けてください。

※ねじの締付トルクの基準
1.0～1.5N･m（10～15kgf･cm）

●メンテナンスについて

いつまでもクリアーなサウンドをお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に保守点検をご依頼ください。

お客様窓口専用ダイヤル	（03）3893-5243	ご利用時間　9:00～12:00 13:00～18:00（土･日･祝祭日･弊社休業日を除く）

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎（03）3893-5221（大代）
ホームページアドレス　http://www.nippon-antenna.co.jp/

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

QT572　平成23年7月

日本アンテナ

取扱説明書

優良住宅部品

テレビ共同受信機器 FMアンテナ

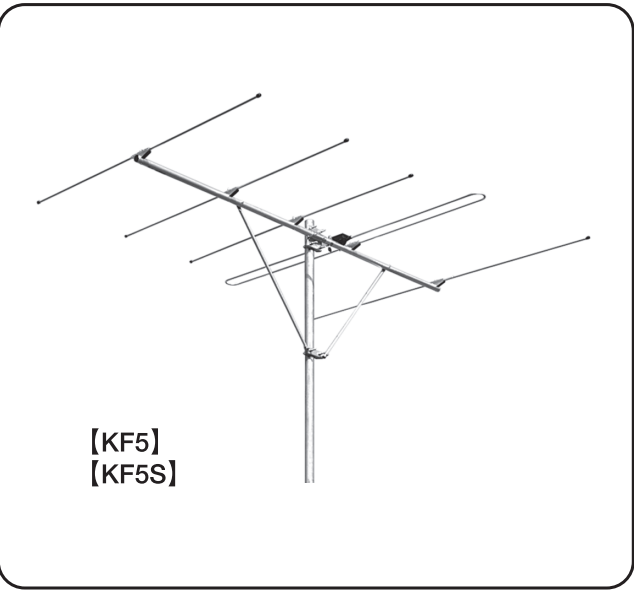
種類	素子数	仕様	BL型式	日本アンテナ型名
FM放送帯域用	5素子	アルミニウム	**VS-FM**	**KF5**
FM放送帯域用	5素子	ステンレス	**VS-FMS**	**KF5S**

このたびは日本アンテナ製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

●ご使用前にこの取扱説明書と施工説明書をよくお読みください。

●お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

目　次

【KF5】
【KF5S】

優良住宅部品（BL部品）とは
（財）ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって、品質、性能、アフターサービスなどに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定した住宅部品です。さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので、安心してご利用できます。

取扱上のご注意　アンテナを屋根上などに設置する場合は、強度上の安全性確保のため、専門の技術者または、専門業者にご依頼ください。

安全上のご注意

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

〔表示説明〕

表示	意味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

〔図記号例〕

記号	意味
⃠	「⃠」は禁止の行為である内容を告げるものです。図記号の中や近くに具体的な禁止内容を示しています。
●	「●」は強制の行為や指示する内容を告げるものです。図記号の中や近くに具体的な指示内容を示しています。
△	「△」は注意（注意・警告を含む）する内容を告げるものです。図記号の中や近くに具体的な注意内容を示しています。

⚠ 警告

●組立や取付のねじやボルトは締付力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締付、固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

●雷が鳴りだしたら、アンテナやケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

●台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付金具に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがの原因になることがあります。点検は、専門の技術者または専門業者にご相談ください。

●アンテナや取付金具などに洗濯物や他のものを掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

●マンションやアパートなどによっては、取付けに規制のあるところがあります。管理組合や管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取付けてください。

製品の保証

この製品の保証期間は、商品お引き渡しの日から3年間です。
保証期間内に取扱説明書・施工説明書の記載事項に従った正常な使用状況で故障した場合、ご購入店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

免責事項

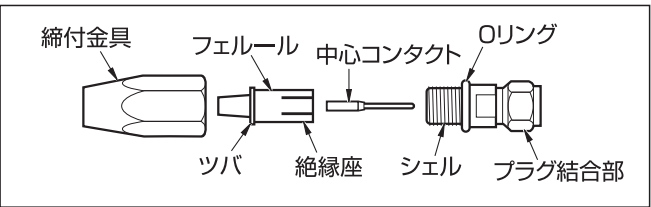
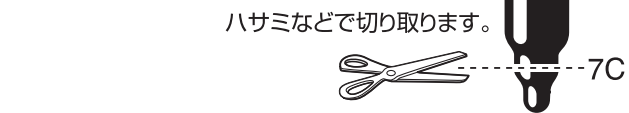
下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。

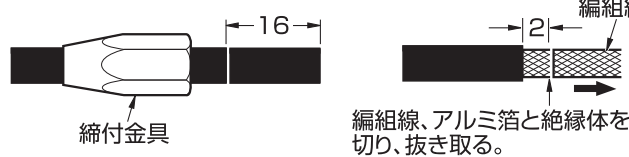
①住宅、事務所、学校、病院、ホテルまたは旅館以外で使用した場合の不具合。
②ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
③メーカーが定める施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動、分解などに起因する不具合。
④建築躯体の変形など、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
⑤海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
⑥ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
⑦火災・爆発事故・落雷・地震・噴火・洪水・津波など天変地異または戦争・暴動など破壊行為による不具合。
⑧消耗部品の消耗に起因する不具合。
⑨電気の供給トラブルなどに起因する不具合。

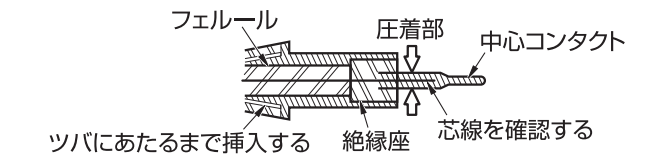
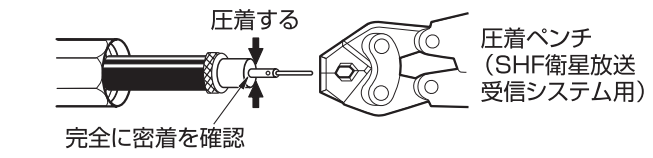
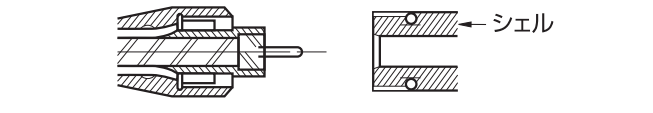
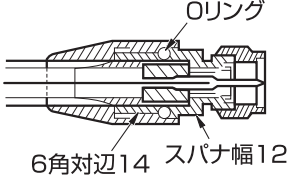
④同軸ケーブルの加工とコネクターの取付

同軸ケーブル（S-7C-FB）に弊社製F型防水接栓を取付ける場合の加工例（ケーブル、接栓共に別売品）

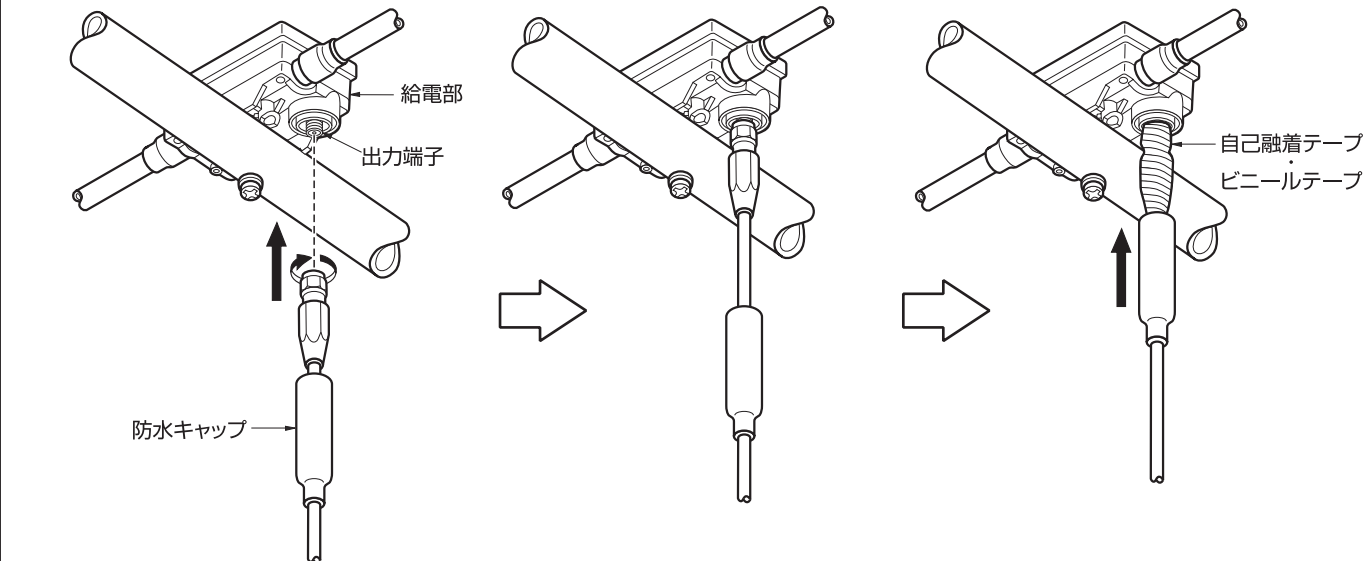
F型防水接栓の構造

（単位：mm）

1 同軸ケーブルの太さに合わせて防水キャップをカットします。

2 あらかじめ防水キャップと締付金具をケーブルに通しておきます。

3 外被をナイフなどで取り除き、編組線、アルミ箔と絶縁体を指定寸法に切り取ってください。

4 編組線を折り返します。

5 フェルールを編組線とアルミ箔の間にさし込み、次に中心コンタクトを芯線に取付けます。できるだけ絶縁座に近づけて端子を圧着してください。

6 圧着ペンチで芯線と中心コンタクトを固定します。

7 モンキーレンチまたはスパナでシェルを締めつけます。

8 Oリングがかくれていることを確認します。

⚠ 屋外に設置する場合は、屋外用の防水接栓を使用してください。また同軸ケーブルは、衛星対応ケーブルをご使用ください。

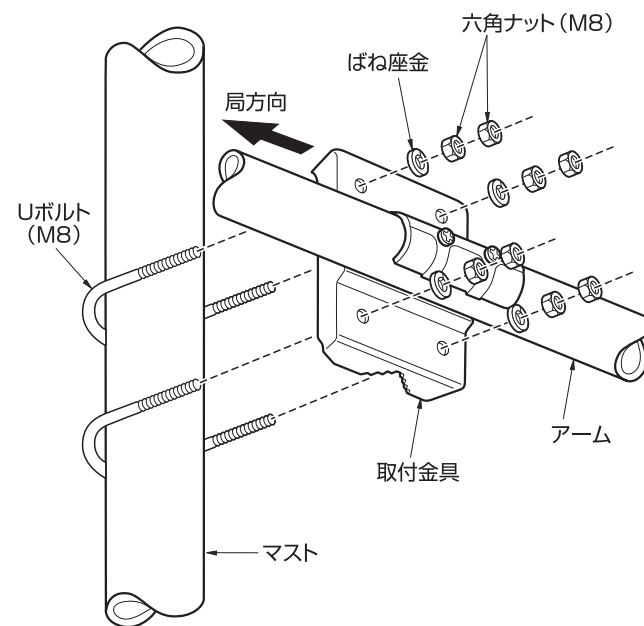
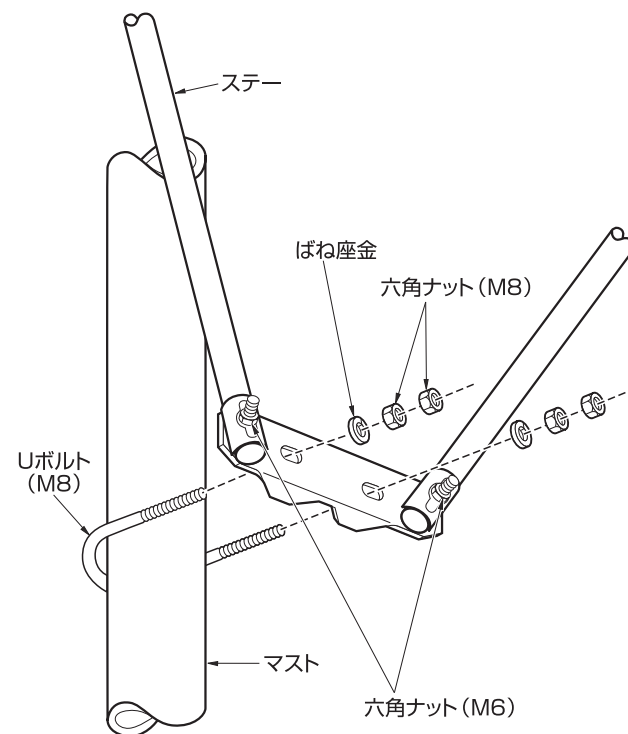
⑤給電部への同軸ケーブル取付と防水処理方法

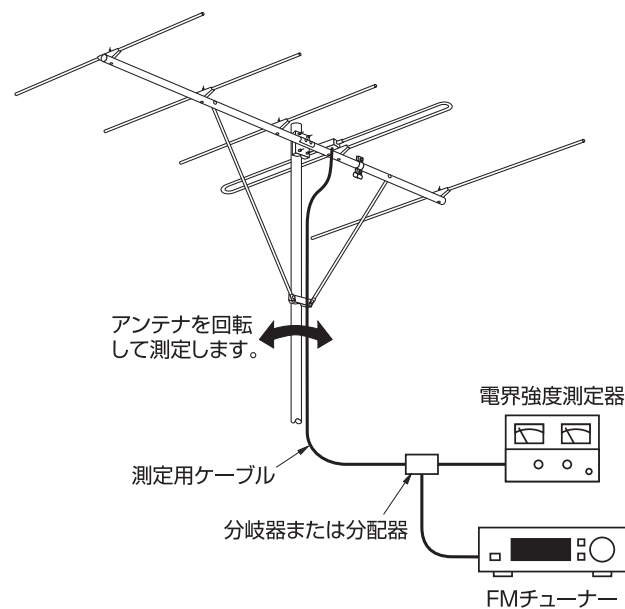
同軸ケーブルを給電部の出力端子に接続し、スパナなどを用いて締付けます。このときの接栓の締付トルクの目安は約2.0N・m（20kgf・cm）です。締付け後、防水キャップを奥に突き当たるまで、しっかり挿入して完了です。
また、塩害地、雨の多い地域では、雨水の浸入を防ぎ、性能を維持するため、防水キャップを取付ける前に別売の自己融着テープを巻き、さらにビニールテープを巻きつけた後、防水キャップを取付けることをおすすめします。

取付方法

①〜⑥の手順で取付けてください。

①マストへの取付

マスト取付金具にUボルトを図のように差し込みます。次にUボルト、マスト取付金具、ばね座金の順に挿入し、各2個ずつの六角ナットでしっかり固定してください。

六角ナットの締付トルク：12.7〜13.1N・m
（130〜134kgf･cm）

②マスト側ステーの取付

マスト側のステー取付は付属のUボルトを使い、図のように組み付けて、ねじ、ナットを所定のトルクで締付けてください。

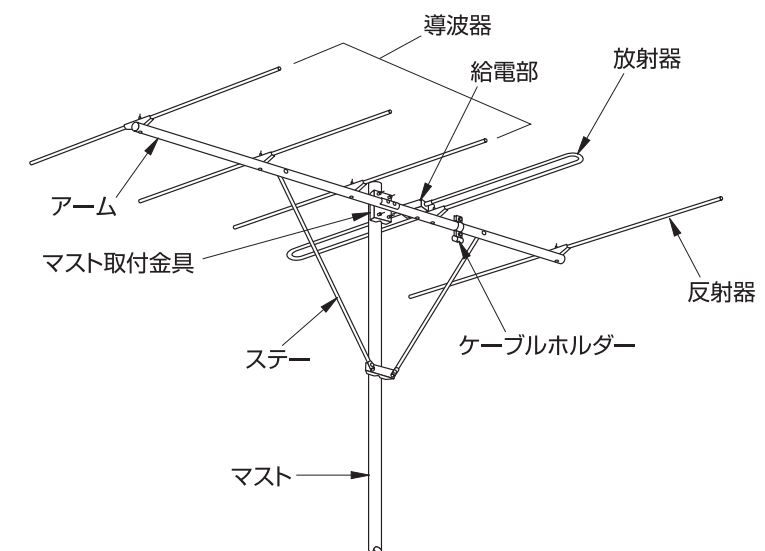
③アンテナの調整方法

①測定用ケーブルを給電部に接続します。
②電界測定器のメーターが最大になる位置にアンテナのマストを回転させてください。
③希望している電波が受信され、クリアーなサウンドが試聴できれば調整は完了です。
④調整が完了したら、マストを固定してください。

アンテナの特長

- ●本器にはアルミニウム型と塩害地に最適なステンレス型があり、受信地域に応じてご使用いただけます。
- ●給電部は強靭で高周波特性の優れた合成樹脂を採用。耐候性、耐衝撃性に優れています。
- ●全ての部品に信頼のある材料を使用しており、優れた耐久性を持っています。
- ●強固なマスト取付金具により、アンテナの重心をバランスよく支持しています。

性能規格

品名	FM放送帯域用5素子
型名	KF5／KF5S
素子数	5
使用周波数（MHz）	76〜90
使用チャンネル	FM
インピーダンス（Ω）	75 F型（C15形）
動作利得（dB以上）	4.5
前後比（dB以上）	9
電圧定在波比（以下）	2.5
半値幅（度以下）	70
受風面積（㎡）	0.241
耐風圧	風速45m／secに相当する風圧（風圧が加わっている間、飛散に相当する破壊がないこと）
適合マスト径（mm）	直径38〜60.5
外形寸法（mm）	649×1950×2196
質量（kg）	4.1（6.1）
備考	質量（　）内の数値はステンレス仕様の値です

各部の名称

施工説明書

●当社の定める施工説明を逸脱しない据付工事に不具合（瑕疵）が生じ、施工者が無償修理や損害賠償をおこなった場合、BLマークの証紙の貼付（または刻印など）がされている部品については、同財団のBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
●BLマーク証紙の貼付（または刻印など）がされている部品については、万一、当社または設置工事施工者による瑕疵保証責任などが行なえない場合、これに代わる措置が同財団から受けられます。
●BL保険制度については、（財）ベターリビングのホームページ（http://www.cbl.or.jp/）をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、（財）ベターリビング（TEL03-5211-0680）でもお受けいたします。

設置上のご注意

下記の注意事項をお守りください。

建物や樹木などの陰はさけ、見通しのよい場所を選んでください。

交通量の多い道路、ネオン、高圧線などからできるだけ離してください。

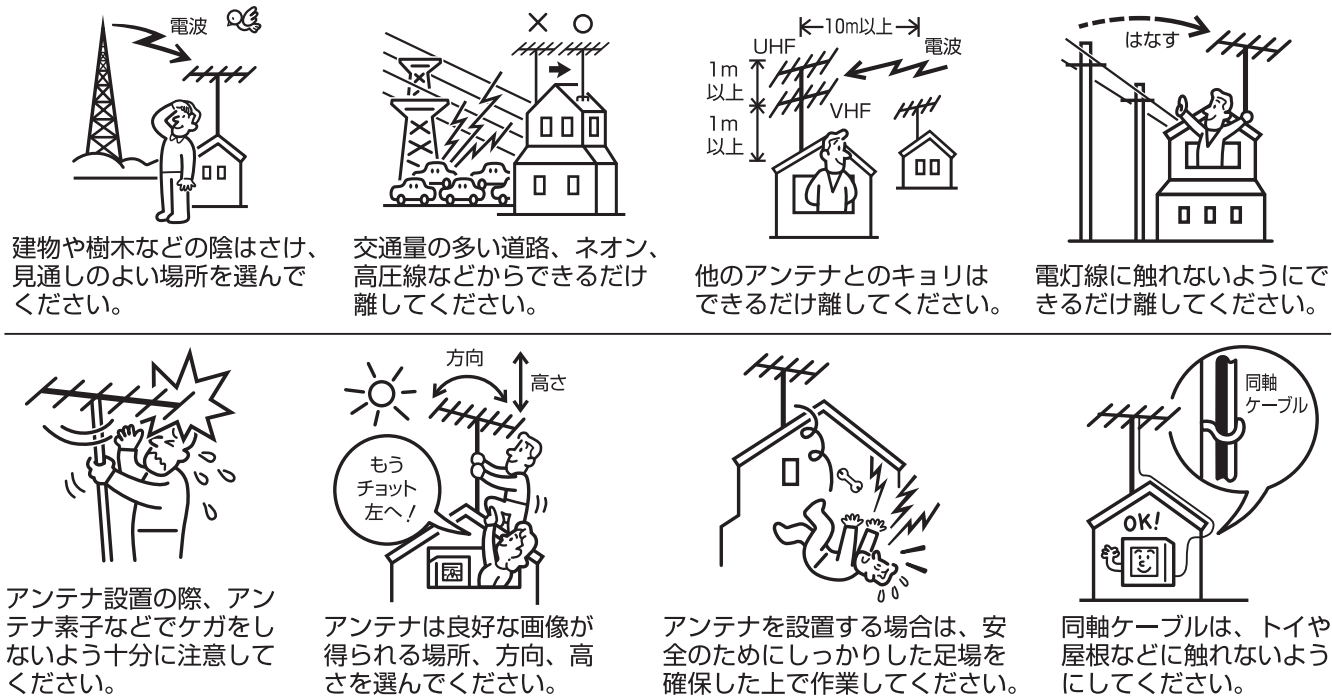
他のアンテナとのキョリはできるだけ離してください。

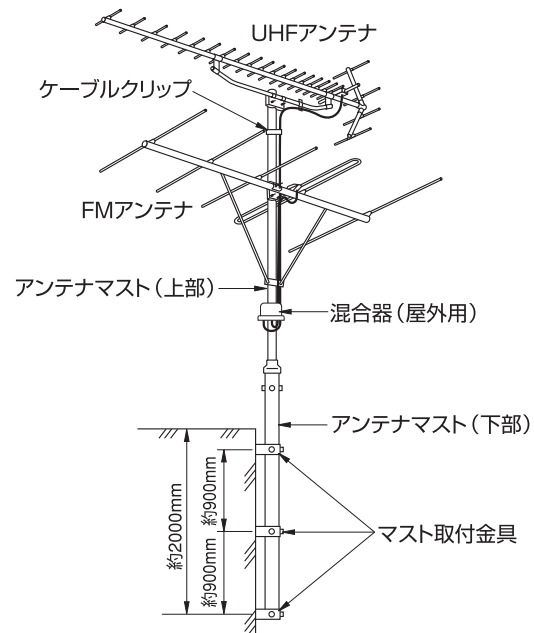
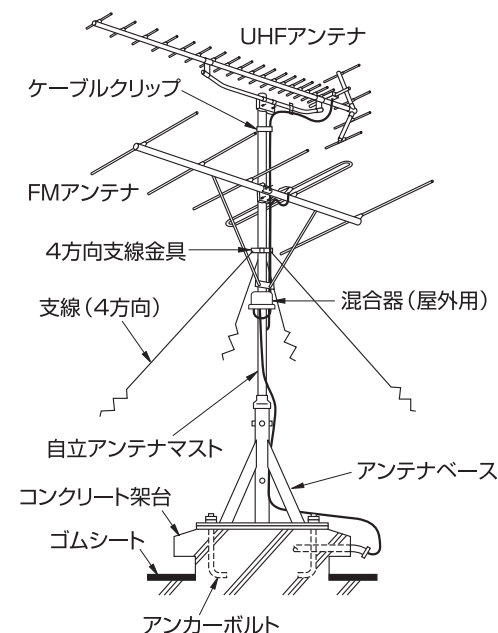
電灯線に触れないようにできるだけ離してください。

アンテナ設置の際、アンテナ素子などでケガをしないよう十分に注意してください。

アンテナは良好な画像が得られる場所、方向、高さを選んでください。

アンテナを設置する場合は、安全のためにしっかりした足場を確保した上で作業してください。

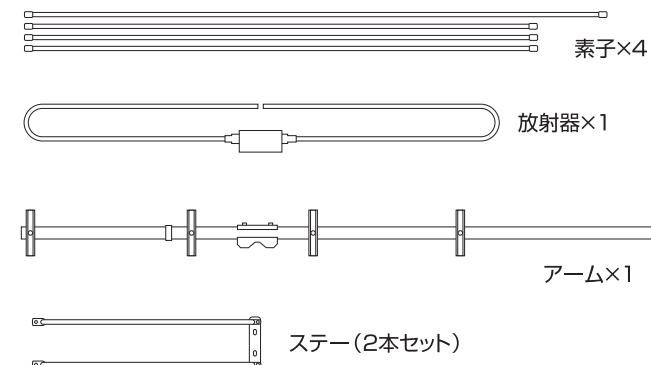
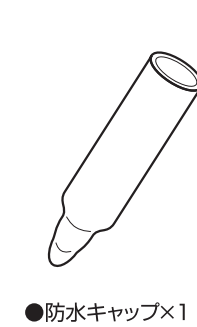
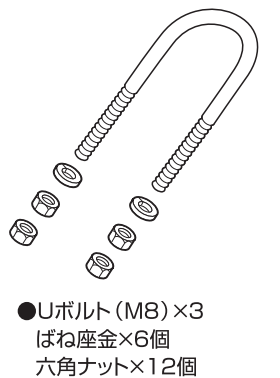
同軸ケーブルは、トイや屋根などに触れないようにしてください。

設置完成例

屋上設置例

自立設置例

用意する工具およびテープ類

●プラスドライバー（大）　●モンキーレンチまたはスパナ　●はさみ　●ナイフまたはカッター
●トルクレンチ　●圧着ペンチ　●ペンチ　●ニッパー　●自己融着テープ　●ビニールテープなど

構成部品

下記の部品で構成されています。開封時に欠落部品がないかをご確認ください。

アンテナ本体一式

付属品

組立方法

アームとエレメントについているカラーマークを合わせて組み立ててください。

ねじ、六角ナットの締付トルク	
M5	2.0〜2.5N･m（20〜25kgf･cm）
M6	2.9〜3.4N･m（30〜35kgf･cm）
M8	12.7〜13.1N･m（130〜134kgf･cm）

①放射器の組立

②導波器・反射器の取付

六角ナットを所定のトルクで締付けてください。

③アーム側ステーの取付

アームに取付けられたねじを使用し、所定のトルクで締付けてください。